相愛大学研究シーズ集

シーズ名	アートマネジメント／文化政策研究
所　属	音楽学部　音楽学科
氏　名	志村　聖子

【概要】研究活動の根幹を成すのは「舞台芸術の価値をどのようにして多くの人々に届けることができるか」という課題意識である。このような問題意識の具体化として、アートマネジメント人材育成（科研研究）や、芸術文化に対する公的支援、舞台芸術におけるアーカイブ政策に関する調査研究を進め、国内外で学会発表を行っている。また、伝統芸能におけるマネジメント人材育成について社会的要請に応える観点から、「伝統芸能コーディネーター育成プログラム」（文化庁補助事業、2019年度-2021年度）を実施し、ここで得られた知見をもとに、 2023年度からは無形文化遺産のキュレーションに関する共同研究（科研研究）を遂行している。社会活動としては、新・福岡古楽音楽祭実行委員、日本アートマネジメント学会九州部会長、大阪府市文化振興会議委員および専門委員（大阪アーツカウンシル部会委員）を務めている。教育活動としては、本学アートプロデュース専攻での教育（座学、演習、卒論指導等）のほか、京都市立芸術大学、大阪公立大学大学院で非常勤講師を務め、研究や実務で得られた成果をアートマネジメント教育に還元している。

キーワード	舞台芸術マネジメント、人材育成、アートマーケティング（聴衆との関係構築）、舞台芸術におけるキュレーション